

平成26年度補正

三共電業 有限会社

事業計画名

電力送電設備の強化に伴う銅管端子の品質安定化を目指すプレス成形加工技術の開発

機械効果と熟練技術力の融合 細やかな作業で精度向上を図る

―事業の背景―

品質の安定化と数値化を求めて

送電設備の一部である銅管端子は、少量多品種製品であり、プレスしたのち、面取り、穴あけ、水漏れ防止加工など、工程の多い商品である。当社では、熟練職人の長年培ってきた技術や経験をもとに、部品の製造を行ってきた。しかし、人の手による作業であるため、品質の安定化が大きな課題となっていた。

また、数値化を求める時代の中で、職人技では説明が困難となってきたため、新たにプレス機と画像寸法測定器を導入し、品質の安定化、そして数値化への対応に踏み切った。



―事業の成果―

技術力の証明による信頼の獲得

プレス工程を機械化したことで、不良率が0.03%と大幅にダウン。手作業の工程が機械化されたことで、加工時間も大幅に短縮することができた。工程を機械化したことで、熟練職人を熟練技が必要とされるところに配置。作業に集中出来るようになり、今まで以上に高品質な製品の安定的な提供ができる体制を構築できた。

また、画像測定器を導入し、プレス機ストロークの数値化、製品品質の数値化が可能となり、かつて不可能だった当社技術力を数値化することで大きな信頼を得ることができた。



―三共電業有限会社の概要―

社会に電気を供給する一翼を担う

当社が主力製品として製造している銅管端子は、ライフラインの一つである電気を社会に供給するために必要不可欠な部品であり、電柱、分電盤、電気配線等の送電設備に電線を接続するために使われている。そして、設備の形状や電線の太さにより大きさがすべて異なるため、少量多品種なものであり、重要な箇所に使用されていることから、高度な精密加工が要求される部品でもある。

当社では熟練職人の技術や経験で、板やパイプ部分の形状、長さ、厚み等の調整や、工程に必要な工具の制作等、独自の技術を発揮し、新型を含む銅管端子のシェアの拡大を目指す。

―三共電業有限会社の取組み―

働きやすい職場への環境づくり

五條市は山間部ということもあり、主婦など日中に働く場所が限られている。当社は従業員の約7割が女性という、工場では珍しい体制を構築している。

作業工程内の力仕事は工夫をし、精密な加工が必要で精度が求められる工程は女性ならではの繊細さ、丁寧さが最大限に発揮されている。また、製品の不良率の低下にもつながっていると考えられる。

当社ではみんなが働きやすい環境づくりにも着手しており、従業員の意見等を取り入れ、個々の技術の向上を目指し、長年にわたり働いてもらえるよう取り組んでいる。



三共電業 有限会社

業種分類 金属製品製造業
事業内容 送電設備(電柱・分電盤・電気配線等)の
接合部品などの精密加工

代表者名 代表取締役 澤井 恵
所在地 奈良県五條市野原東4-2-14
連絡先 TEL : 0747-22-5508 / FAX : 0747-22-5828
ホームページ <http://sankyo-dengyo.jp/>
E-MAIL sankyodengyo@ivory.plala.or.jp